



お姉ちゃんが来た

著者	安西理晃
発行	竹書房 バンブーコミックス
発売日	2012年6月27日

お、二次元に親の再婚率が高い理由が分かって来たかも。

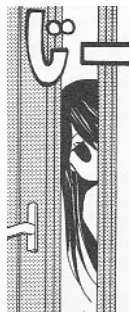
ただ、『お姉ちゃんが来た』に関しては、そんな小難しいことを考えずに、ブラコンきわまる一香お姉ちゃんの爆走を楽しめる姉コミックですけどね！

水原朋也 13 才。

父親の再婚によって変な姉・水原一香 17 才が出来ました。

お姉ちゃんからの愛が…重い…。

■親の再婚で「姉」できました



あーもう、どいつもこいつも「親の再婚」でお姉ちゃんを手に入れやがって！！

生まれた時点で姉がいないことが確定する負け組にとって、唯一の望みである「親の再婚」によるお姉ちゃん登場イベント。

確かに、このイベントが発生するには、親の死別や離婚など辛いイベントが前提となるわけで、誰もが好きこのんで起こしたわけではないけれど……。

それでも甘い響き「親の再婚で出来た姉」。

姉の欲しかった弟、弟の欲しかった姉には夢が叶う奇跡。

血の繋がりはないけど、姉弟で愛し合うのは倫理的にいいの？ ダメなの？ 的なあいまいさ。

血の繋がった姉弟ではない故に、家族愛って何だろうと追求する物語性。

■姉はストガわ(スター可愛い)

主人公・水原朋也君は男子中学生。

父親との男二人暮らしから、突如新しい母親と、お姉ちゃんが家族が増えて、戸惑うばかり。

ここまではよくある話。

あまりない話は、お姉ちゃんが過激なブラコンだったってこと！

一人っ子だったお姉ちゃんは、ず

っと弟や妹が欲しかったようで（兄や姉でないとこが生来の姉気質か？）、新しくできた弟のことが可愛くて仕方がない。

まだよく知らない弟のことを知りたい、姉弟として過ごせなかった時間を埋めたいと思ったお姉ちゃんはどうなったか。



